

冬休みの家族とのおでかけに！

国内旅行がもっと楽しくなる！

過去参加された方も参加可能です

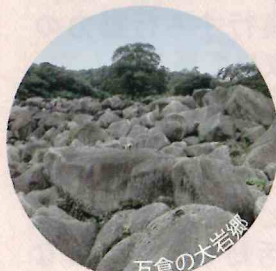
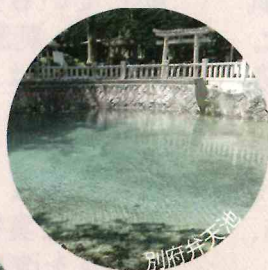
第3回

ジオ旅フエスト

応募期間：2025/12/01-2026/02/28

無料アプリ「ジオパークな旅」を使ってジオパークの見どころを巡り
ポイントを貯めると、抽選で美祢市の特産品などが当たります！
各所で自然や地球の壮大さを感じながら、いっぱい良いもの当てちゃおう！

参加費無料



詳細はこちら！



01

アプリ「ジオパークな旅」をダウンロード

Google Play



App Store



02

全国各地にある周遊地点を5箇所以上回り、5ポイント以上取得する
(美祢市内の周遊地点は全9箇所)



03

カルスターで5ポイント以上たまった画面を見せ、応募用紙に記入
(5ポイント毎何口でも応募可能)



04

応募期間終了後、抽選を行い当選者に商品を発送します



いろんな景品が当たる！

※内容は変更となる場合があります。 ※発送時期は当選商品によって異なります。

美祢の四季味わいセット

1名様



阿川果樹園ぶどう3房

1名様



美祢グランドホテルペア宿泊券

1組様



Agri charm いちご4パック

1組様



このほか、美祢市の地ビールや美祢市産のアスパラガス、梨カステラなど、Mine秋吉台ジオパークパートナーによる地元の“おいしい”や“うれしい”が当たるチャンス！詳しくはホームページをご確認ください。

第15回日本ジオパーク全国大会十勝岳大会に参加して

10月27・28日の2日間、北海道の十勝岳ジオパークで全国大会が開催されました。美祢青嶺高校の生徒3名が口頭発表を行ったので、その感想を紹介します。



質疑に笑顔で回答する高校生

左から利重絵里さん、宗内銀河さん、岡崎勘汰さん

今回、ジオパーク全国大会に初めて参加し、十勝岳ジオパークを実際に見て回ったり、他のジオパークについての発表・関係者の方の話を聞いたりすることができ、よい刺激を受けました。先日、Mine秋吉台ジオパークは世界ジオパークとしての承認勧告が決定したという嬉しいニュースも入りました。美祢の美しい自然が国際的に評価されることは、地域の誇りであり、私自身が思っていた以上に「世界ジオパーク認定」というものが大きな意味を持つのだなと感じました。これらを守り、未来へつなげていくことが私たちの大切な役目だと強く思いました。

利重絵里

私はジオパーク十勝岳大会で、Mine秋吉台ジオパークの中でも「山焼き」について探究し、発表しました。山焼きについて調査する際、山焼きの疑似体験を行い、直接肌で感じる貴重な体験ができました。また、ユースセッションでは、各班に分かれて十勝岳ジオパークの自然スポットを訪れました。私は上富良野町の十勝岳連峰が一望できる日の出公園という場所に行き、十勝岳連峰について学びました。連峰は噴火によってできていて、秋吉台とは違う地質や台地について考えることができました。2日間で、全国の多くのジオパークのことについて知ることができ、また、小学校の頃から学んでいる秋吉台についてより深く考える機会となり、よい研修になりました。

宗内銀河

私はジオパーク十勝岳大会で他の高校生や中学生の発表を聞き、ジオパークについて深く考え、実際に行動している生徒が多くいることに、刺激を受けました。発表からは、地元の大切な自然を愛する気持ちが伝わってきました。現状を伝えるだけでなく、課題の解決策を考え実行する行動力の大切さを改めて感じました。今回の大会では、山焼きの課題について調べたり聞いたりしたことを伝えることができたと思うので、今後は他校の活動を参考にしながら、私たちも地域のためにアクションを起こしていきたいです。

岡崎勘汰



Mine秋吉台ジオパークが ユネスコ世界ジオパーク UGGpになったら、どうなるの？

part 6

おき 隠岐ジオパーク編

隠岐ジオパークのウェブサイト



今回は、2013年に世界ジオパーク（2015年にUGGp）として認定された島根県の離島、隠岐ジオパークに話を伺いました！隠岐ジオパークは、ジオパークになる前は、「早く大人になって辺鄙な島から出ていきたい」と思う子どもが多かったそうです。そこで、「隠岐の子どもたちが本土へ移っても、誇りと愛情をもって隠岐の出身だと言ってほしい」という願いからジオパーク活動が始まり、UGGp認定を契機に、公民館での出前講座や学校の探究授業を通して隠岐の「世界に誇れる魅力」をみんなで見直すようになりました。その結果、今では、子どもたちがどこへ行っても隠岐の世界的な価値を語れるようになり、7割が「いつか隠岐へ帰りたい」と言うようになったそうです。さらに、隠岐を構成する4つの島でジオパークをベースとした地域づくりが活発化し、各島のホテルがジオパークをベースとするリニューアルを行ったり、以前はライバル視していた島同士のホテルが共同ツアーを実施するという変化があったそうです。さらに、ジオパークになる前の隠岐の観光は、きれいな景色を見るという内容がほとんどでしたが、現在は景色や歴史の背景を理解するという、より深い内容へと変わったそうです。Mine秋吉台ジオパークでも、UGGp認定をきっかけに、地域をより愛し、誇りに想う次世代が育まれていくよう、今後も活動を進めていきます。

続く